

市民公益活動について

□調査期間

令和8年10月5日～10月11日

□調査の趣旨

市民自治振興課では、NPOやボランティアの支援及び協働の推進に関する事務を行っています。市民の皆様の「市民公益活動」に対する理解度や経験度を把握し、推進に役立てるために「市民公益活動」についてお聞きます。

□対象者数

1,644 人(令和8年10月5日現在)

□回答者数

935 人

□回答率

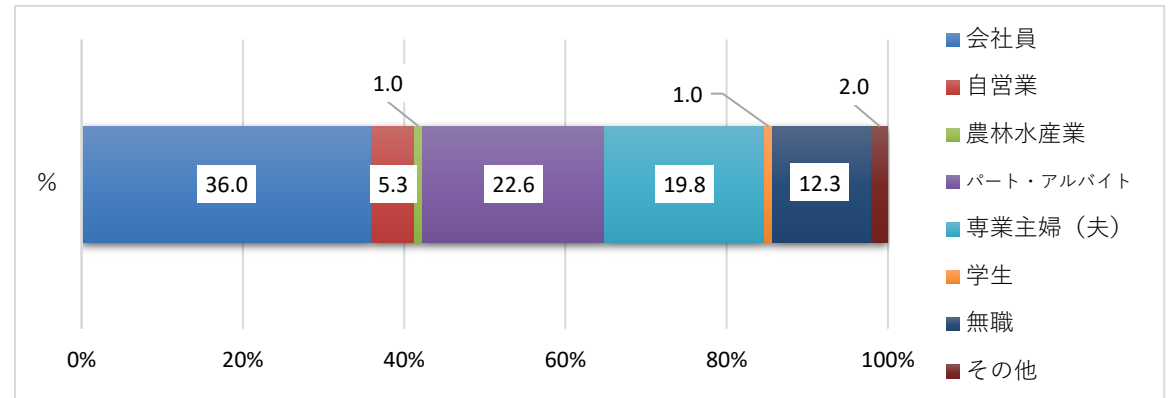
56.9 %

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

【Q1】まずは、モニター情報を教えてください。

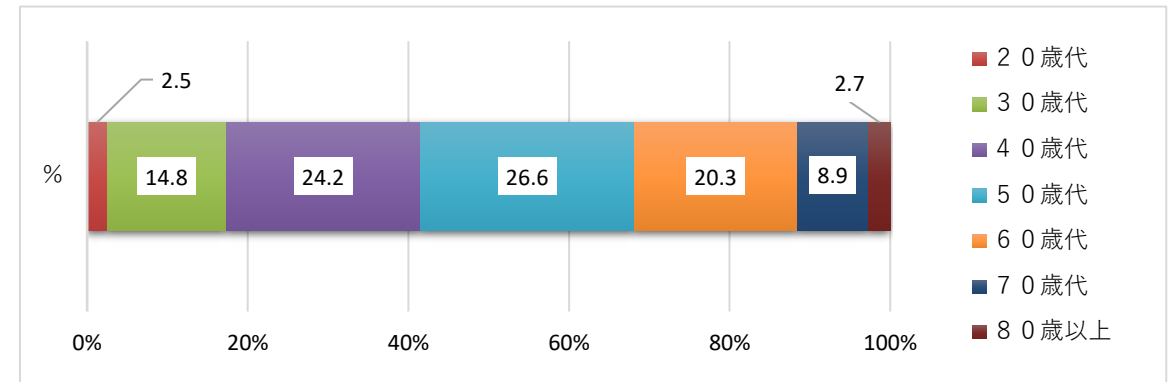
【職業】

内訳	人数	%
会社員	337	36.0
自営業	50	5.3
農林水産業	9	1.0
パート・アルバイト	211	22.6
専業主婦(夫)	185	19.8
学生	9	1.0
無職	115	12.3
その他	19	2.0
合計	935	100.0



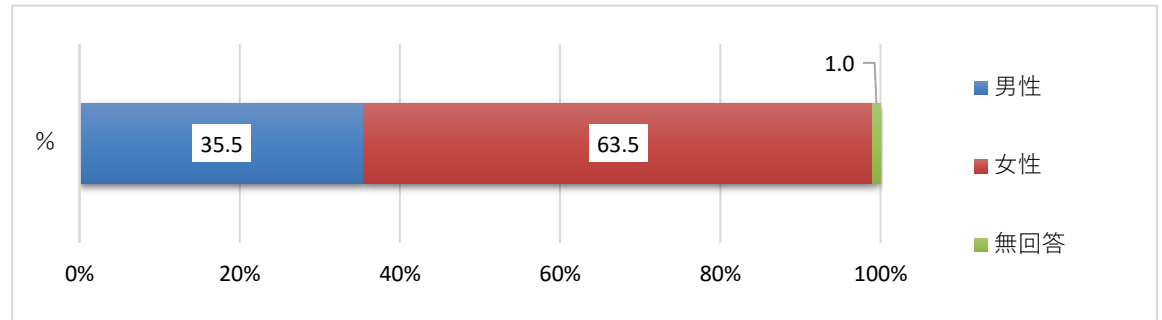
【年齢】

内訳	人数	%
10歳代	1	0.1
20歳代	23	2.5
30歳代	138	14.8
40歳代	226	24.2
50歳代	249	26.6
60歳代	190	20.3
70歳代	83	8.9
80歳以上	25	2.7
合計	935	100.1



【性別】

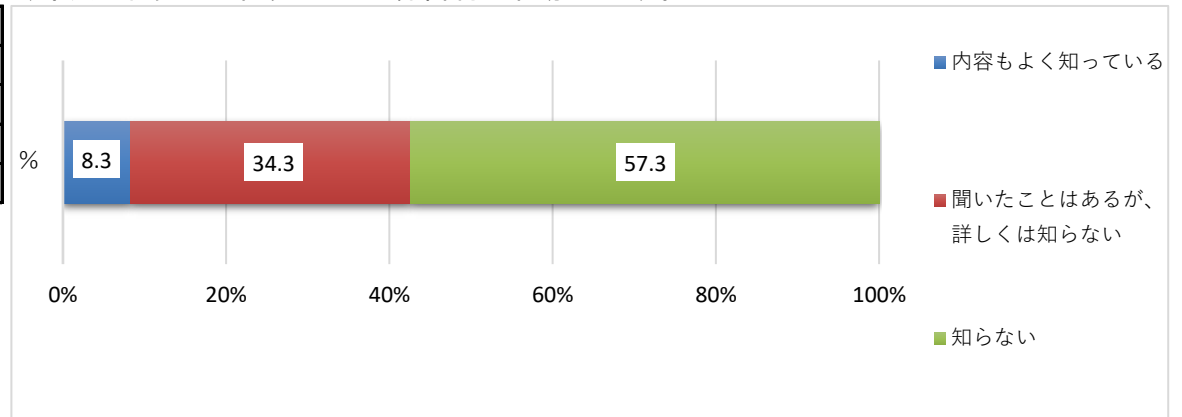
内訳	人数	%
男性	332	35.5
女性	594	63.5
無回答	9	1.0
合計	935	100.0



【Q2】あなたは、「市民公益活動」という言葉を知っていますか？（ひとつだけ選択）

※「市民公益活動」とは、NPO活動やボランティア活動等のように、市民が自発的に行う公益的で非営利の活動とします。

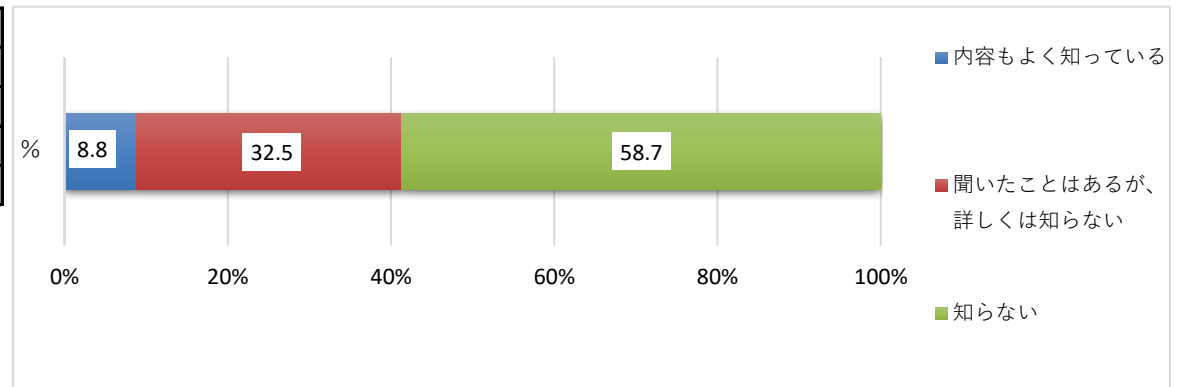
内訳	人数	%
内容もよく知っている	78	8.3
聞いたことはあるが、詳しくは知らない	321	34.3
知らない	536	57.3
合計	935	99.9



【Q3】あなたは、「協働」という言葉を知っていますか？（ひとつだけ選択）

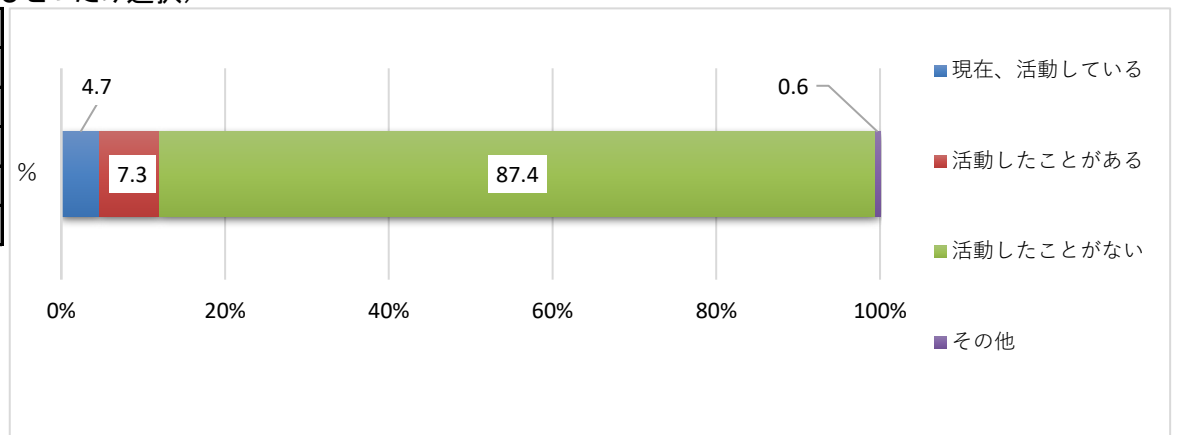
※「協働」とは、公益という共通の目的のもとに、行政や市民(市民公益活動団体等)が互いの立場を認めながら、対等な関係で連携・協力し、共通課題の解決に当たる取り組みです。

内訳	人数	%
内容もよく知っている	82	8.8
聞いたことはあるが、詳しくは知らない	304	32.5
知らない	549	58.7
合計	935	100.0



【Q4】あなたは、「市民公益活動」を行った経験はありますか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
現在、活動している	44	4.7
活動したことがある	68	7.3
活動したことがない	817	87.4
その他	6	0.6
合計	935	99.4



【Q4-1】その他(対象6人)

- ☐ そもそも知らない。
- ☐ どんなことかわからない。
- ☐ よくわからない。
- ☐ わからない。
- ☐ 紀美野町に豪雨災害のボランティアに行ったことがある。
- ☐ 知らない。

【Q5】Q4で「現在、活動している」、「活動したことがある」と回答した方にお聞きします。
具体的にどのような市民公益活動を行っている(行ったことがあるか)か、ご記入ください。(任意)(対象112人)

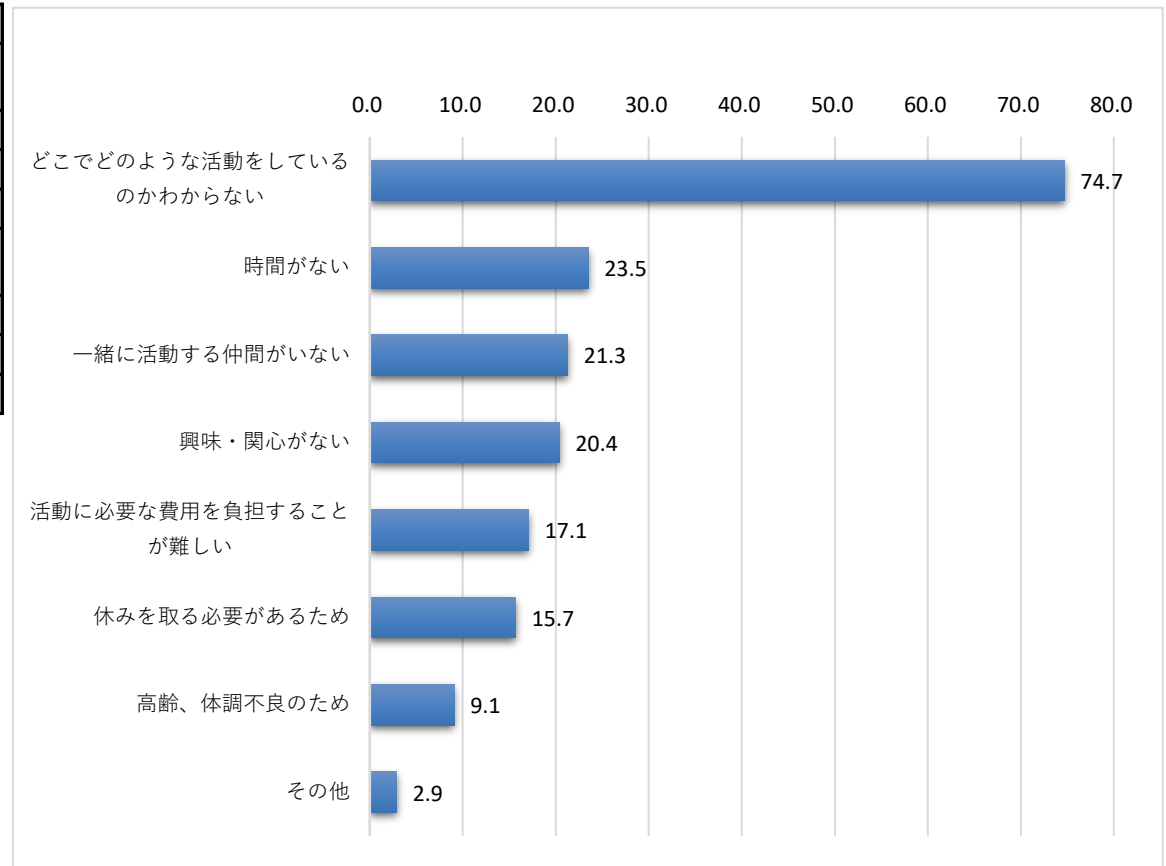
- ☐ JC,紀州よさこい祭り
- ☐ NPOの活動に時々参加している。
- ☐ NPO手作り教室を何度かした。
- ☐ NPO団体の手伝い。
- ☐ NPO法人SIDS家族の会和歌山支部の活動
- ☐ NPO法人自閉症協会で自閉症者の家族の交流会などをしている。
- ☐ PTA役員の活動(支援学校)、NPO(ご高齢者)のお手伝い。
- ☐ WINコンコードで留学生の支援をしています。
- ☐ YMCA
- ☐ エイズ予防、歴史的駅舎保存
- ☐ コミセンや自治会館での討論会に参加したことがある。
- ☐ ゴミ拾い
- ☐ ゴミ拾い
- ☐ ゴミ拾い、イベントでの演し物
- ☐ ゴミ拾いボランティア
- ☐ シェルターに勤めています。
- ☐ シニアエクササイズ
- ☐ シニアエクササイズ
- ☐ ジャズマラソンのボランティア
- ☐ ディズニーパレードのボランティアに2回参加しました。
- ☐ ビーチクリーン
- ☐ ベルマークを寄付する。献血。
- ☐ ボランティア活動
- ☐ 共同活動
- ☐ わかやまおもちゃ病院
- ☐ 一万人大清掃に10年間参加している。
- ☐ 援農隊、商工まつりボランティア
- ☐ 加太の海岸清掃ボランティアや子どものスキーツアーの引率スタッフボランティア
- ☐ 河川や海岸の清掃活動、子育て支援コンサート
- ☐ 学校ボランティア
- ☐ 環境保全&整備、文化の継承等。

- 紀ノ川清掃
- 紀伊半島大水害の際、ボランティアで被災地の泥かきに行きました。
- 紀伊風土記の丘ボランティアの会
- 熊本水前寺公園の池の清掃
- 熊野古道道普請
- 献血も入りますか？
- 見回りパトロール
- 公益社団法人で幹事をしている。
- 公園・地域の美化活動、地域防災活動
- 公園や歩道の掃除
- 公民館主事として地域貢献、視覚障害者のための朗読支援員ボランティア、図書館や小学校や商業施設での絵本や紙芝居の読み聞かせボランティア
- 国体ボランティア
- 子どもがよさこい祭りの実行委員をしていたので手伝い。
- 子育て支援活動
- 子供の下校時の見守り
- 子供食堂の、ボランティア
- 市のボランティアに登録して、その活動。NPO団体のボランティア参加。
- 市ボランティアの登録をして 介護施設等で催す。
- 市民図書館で朗読のボランティアをしています。
- 自治会活動
- 自治会活動等
- 自治会清掃活動
- 自治体の道路掃除
- 若者の就労支援
- 主に緑化・美化事業、安全・防災事業、人材育成・人格形成実践事業など。
- 小学校PTA、消防団
- 小学校の図書ボランティア
- 障害者団体の全国大会の運営ボランティア
- 障害者スポーツ
- 食生活改善推進協議会
- 新聞とか録音して目の不自由な方に届ける。
- 震災後のボランティア

- 性的少数者に関する自助・啓発活動
- 清掃
- 清掃ボランティア活動
- 清掃活動
- 掃除
- 総合型地域スポーツクラブの運営に関わり、和歌山市民の健康活動、児童の健全育成に携わっている。
- 台風で被災された方のお手伝い。
- 地域の子ども会で会計担当しました。
- 地域の少年サッカークラブを12名のボランティア指導者と協働し、約90名の子供たちの子育て支援として運営しています。
- 町内清掃、雑草抜き
- 難病患者同士の情報交換や交流の場作り。
- 日常的にはNPOに所属し、不登校や引きこもりの相談支援、発達障害やその他精神障害、知的障害などを持つひとの相談支援を行っており、スポットでは清掃活動、独居老人の孤立化を防ぐ活動、交通安全や防火活動などを行っている。
- 日本語ボランティア
- 病院ボランティア
- 片男波海岸のゴミ拾い
- 募金活動
- 友ヶ島の海岸のゴミ拾い
- 和歌浦の薪の
- 和歌山市のボランティア
- 和歌山城、加太海岸の清掃活動

【Q6】Q4で「活動したことがない」と回答した方にお聞きます。あなたが、活動されない理由は何ですか？（あてはまるもの全て選択）（対象817人）

内訳	人数	%
どこでどのような活動をしているのかわからない	610	74.7
時間がない	192	23.5
一緒に活動する仲間がいない	174	21.3
興味・関心がない	167	20.4
活動に必要な費用を負担することが難しい	140	17.1
休みを取る必要があるため	128	15.7
高齢、体調不良のため	74	9.1
その他	24	2.9



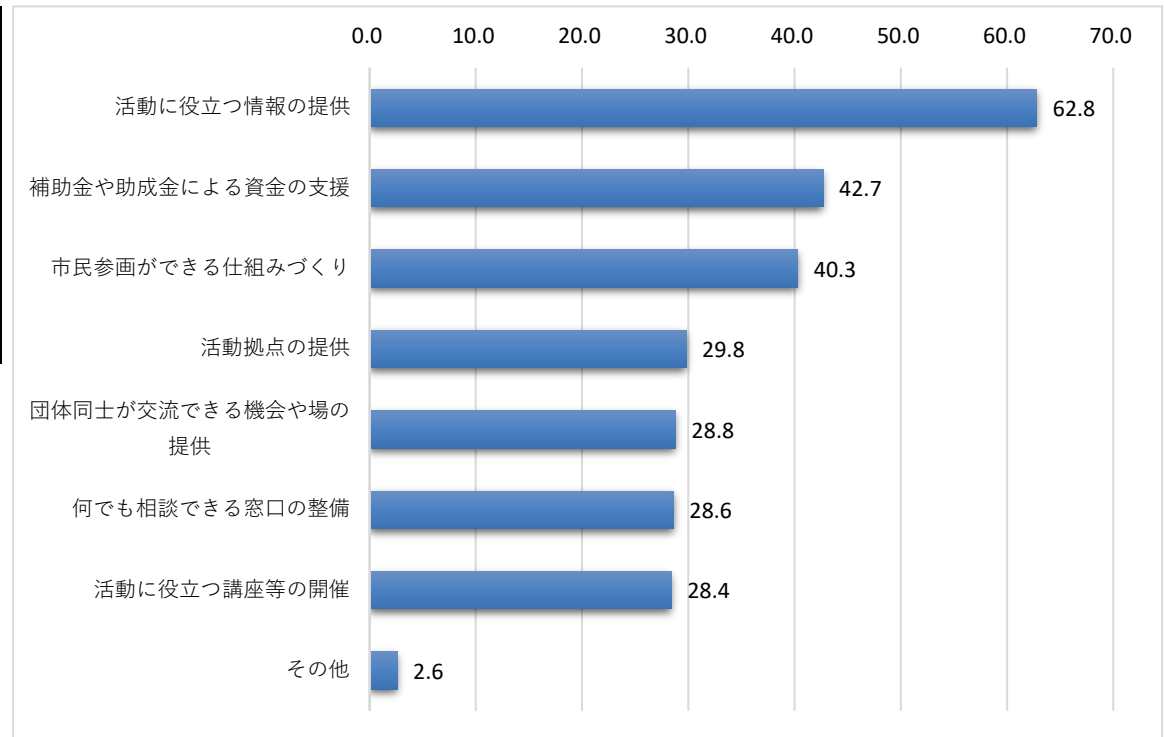
【Q6-1】その他（対象24人）

- 知らない人と関わるのが面倒、人見知りのため。
- 介護の為、決められた日、決められた時間に活動とかは無理です。
- したい内容の活動がない。
- そういう団体があることすら知らないから。
- そのものを知らなかったの。
- そのようなものを知らなかった。
- そのような活動を初めて聞いた。
- その事さえ知らない。
- どの様に参加し 何をするのか知らなかったの。

- ボランティア自体は参加したいと常々、考えているのですが時間的なタイミングが合わない為。
- 活動する理由がないから。
- 子育て中
- 市民公益活動を知らない。
- 存在を知らなかった。
- 体調や体力に不安がある。
- 知らない。
- 知らない。
- 知らない。
- 知らないから。
- 知らなかったから。
- 知らなかったの。
- 民生委員で、別の活動をしているため。
- 和歌山市外で活動している。

【Q7】「協働のまちづくり」を進める上で、行政が市民公益活動団体支援のために行う施策として、あなたが、ふさわしいと思うものは何ですか？
 (あてはまるもの全て選択)

内訳	人数	%
活動に役立つ情報の提供	587	62.8
補助金や助成金による資金の支援	399	42.7
市民参画ができる仕組みづくり	377	40.3
活動拠点の提供	279	29.8
団体同士が交流できる機会や場の提供	269	28.8
何でも相談できる窓口の整備	267	28.6
活動に役立つ講座等の開催	266	28.4
その他	24	2.6



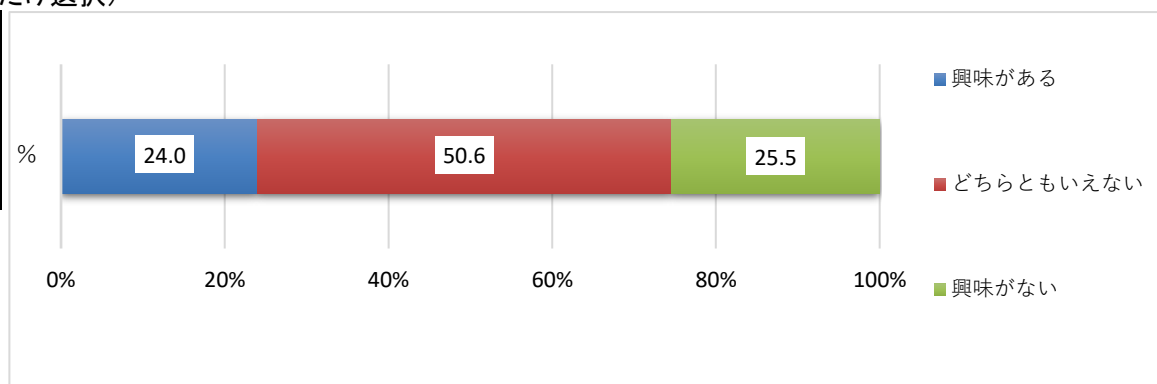
【Q7-1】その他(対象24人)

- ☐ よくわからん。
- ☐ そもそも何かよくわからないから答えられない。
- ☐ なし
- ☐ わからない。
- ☐ わからない。
- ☐ わからない。
- ☐ わからない。
- ☐ わからない。
- ☐ わからないことなので回答できません。
- ☐ わかりません。
- ☐ わかりません。

- 何でも相談できる窓口→誰でも相談したい時に繋がる窓口はどこなのか？仕組みづくり、支援側の適材適所配置が重要だし、急務
- 活動はやっていいが、施設はいらない。
- 官民協働のデジタル化の推進「情報の共有化・迅速化、みえる化など」
- 協働のまちづくり？実績なにかありますか。
- 協働を知らない。
- 公益活動、ボランティア、NPOの違い。活動？何の？例えば？わからないので、答えられない。
- 公共の公園のトイレ環境の整備をお願いしたいです。簡易トイレで水道が無く、手も洗えない河川敷公園ばかりで10年前から何も変わっていない状態です。
- 公金による支援が一部の団体に固定化したり、団体の存続や活動を継続すること自体が目的化したりしないよう、選定基準や資金の使途、活動実績・成果を公開するとともに、その活動が現在も市民にとって必要とされているかを定期的に検証する仕組みを設けること。必要性が低下した事業については、慣例的に継続するのではなく、縮小・廃止も含めて見直すことが重要だと思います。
- 行政が税金でやるべき。
- 市報といっしょに配られる議会だよりのように配布すれば存在に気づくかも？
- 自分の生活で精一杯なので、わからない。
- 知らないからわからない。
- 分からない。

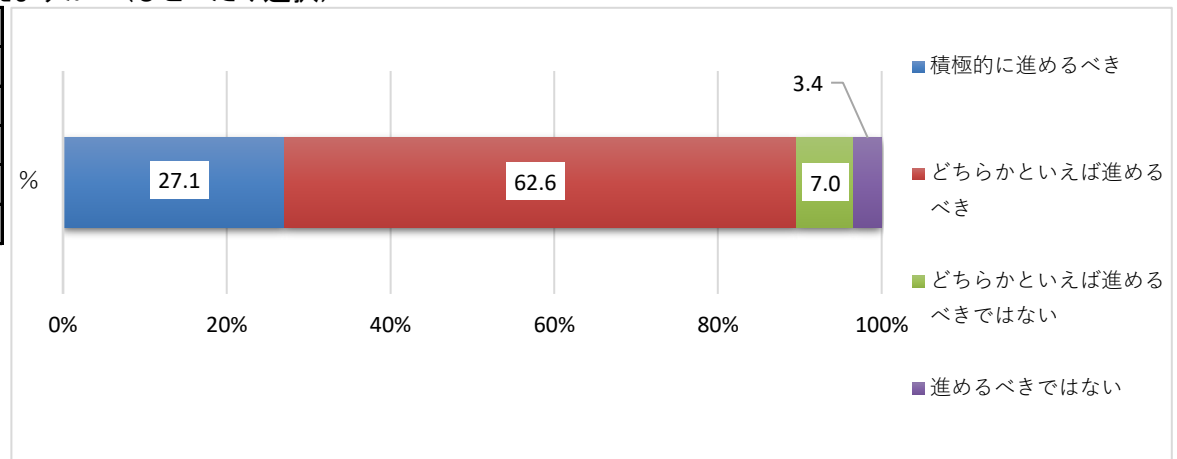
【Q8】あなたは、「市民公益活動」に興味がありますか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
興味がある	224	24.0
どちらともいえない	473	50.6
興味がない	238	25.5
合計	935	100.1



【Q9】和歌山市では、地域の課題を解決するため、市民と行政がそれぞれの立場や役割を生かして一緒に取り組む「協働」を進めています。今後もこのような市民と行政の協働を進めていくことについて、あなたは、どのように考えますか？（ひとつだけ選択）

内訳	人数	%
積極的に進めるべき	253	27.1
どちらかといえば進めるべき	585	62.6
どちらかといえば進めるべきではない	65	7.0
進めるべきではない	32	3.4
合計	935	100.1



【Q10】Q9で選択した回答について、理由をお聞かせください。（任意）

- 一部の人のみでやってる感じがする。
- 和歌山市民からのボトムアップを推進すべき。
- あと一歩踏み出せない人にとっては素敵な活動だから。
- あまりよくわからないから。
- あまり知らないのでもまずは知るところから始めたい。
- ある程度は市民が協力していく事は必要かと。
- アンケートだけでは結局どんなことしてるとか分からない。
- いいまちづくりになると思います。
- いざという時の連携は大事だと思います。
- お互いカバーし合えると思うから。
- お互いの立場の意見交換できる。
- お互いをお互いによく知り、有事の際には協力できる態勢にしておくため。
- お役所がすること。
- これからの高齢化社会を健全に生きてゆくためには、全員参加型の協働が必要と考えます。市民全員が支援するし、別の部分では支援される共助の仕組みがこれからの高齢社会には必須である。
- これからの社会に大切そうに思うから。
- これからの社会をよりよくするためには、みんなで協力し合わなければならない。
- これこそが、これからの地方自治の柱となるものと考えているから。

- しないよりはマシ
- シンプルに良い仕組みだと思うから。
- そのような活動を通じて、和歌山ならではの発想が出て実現していく可能性があると思うため。
- その街に住む人でないと継続的に活動できないこともあるから。
- その前に行政の福祉の就職をもっと充実させてみたら、手話の出来る人など、どれだけ福祉の資格を取得しても就職に対して使い道がなく、趣味で終わる。何も対応できない人が行政で働く。なんか変だよね。
- その地域課題は地域にする人だからこそ知ってる課題があるため。
- それが市民のためになるなら、しない理由がない。
- それぞれの意見、考えを出せる機会が多く提供 確保されることから一步步進めて欲しいです。
- それぞれの着眼点 目線が違うから。
- それぞれの立場で、意見や具体的な活動などにズレが生じないような活動を行う事ができるのではないかと思う。
- それぞれ地域に貢献したいという気持ちがあっても参加方法がわからない。機会を提供してもらうことでコミュニティー作りに役立つ。
- どういう活動があるのかよく分からないため。いっしょに活動する事は賛成です。
- どういう物なのか？わからない。
- どこも人手不足で、今では学生(高校生)から70歳近くの高齢者まで働く時代に、市が協働をうたっても、みんな時間と労力を割ける余裕がないと思われる。現実的に難しい。そのため、地域活性化や地域愛を育む教育の一環として小中学生でも参加できるものを「協働」として実践してはどうだろう？地域の課題解決を考え学校やPTAを巻き込んで実践していくのも良いと思われる。
- どちらとも言えないと言う選択がなかったら。
- どちらも温度差の無い様、関わりあえた方が良い。
- どのような取り組みをしているのかわからないが、市民と行政と一緒に地域の課題を解決するのは良いことだと思うから。
- とりわけ福祉分野においては協働は必要不可欠と考える。
- どんな活動があるのかよくわかっていませんが、生活しやすくなるならいいのではと思います。
- どんな活動をしてるのかわからない。
- どんな名前がつこうとボランティアでは継続性に疑問があるから。なので、長年続けられてる方には頭が下がる。
- なし
- ボランティアに参加したい人、たくさんいますよ。
- ボランティアの活動
- ボランティア活動なので、情報発信は広く行い参加しやすいベースは作るべきだが大きな公費は使うべきではない。
- まずは市政で解決するべきだ。
- まちづくりに関わることで、その地域により愛着を持てるようになると思う。人口施策にもなると思う。但し、一部の方の活動になると意味合いが薄れるので、より多くの方が参加できるように工夫が必要。
- まちづくりを自分事にするべき。
- まちに住んでるのは市民だから、一緒に取り組まないといけないと思う。

- みんなでやった方が色んな意見があって良いかと。
- みんなで協力した方がいと思う。
- みんなで助け合う、協力し合う。
- やってみて、問題点の把握その他諸々の課題を分析して進める。
- やっぱり、お金の問かな。
- やらないよりやったほうがいと感じだ。
- やりたいと思う人がいるなら行政も大いに協力した方がいと思う。
- やる時間があるのに、自分が参画できる場所、機会に出会えていない方が多いように思います。
- よいことはどんどんすればいい。
- よくわからない。
- よくわからない。
- よくわからない。
- よくわからない。
- よくわからないけど、地域の課題を解決できるなら良い事だと思う。
- よくわからないので。
- よくわかりませんが、市民の意見が取り入れられる機会になればよいと思うので。
- よりよい町づくりにつながると思う。
- よりよい方向に向けての取り組みだと思うので、相互に意見交換など必要と考えるため。
- より多くの市民が協働に参画できることにより、行政活動がより効率的に進められると考えます。
- より良い街を創るため。
- より良い街作りにしたい。
- より良い町はみんなで作るものだから。
- わからない。
- わからない。
- わからない。
- わかりません。
- わかりませんが、必要性を感じないNPO団体に資金が流れている現状は問題だと思います。
- わけがわからない。
- 一つのことから縛られるのが苦手、興味のあるものにサポートする形の方が自分には合っている。社会的貢献はしたいが、仕事や農業も掛け持ちしてるので決まった時間がとれないため。
- 一緒に取り組むことは何においても大事なことから。
- 一人暮らしの世帯が増加していたりするので、協力することは不可欠で重要だと考えるため。
- 一部の市民だけの特権になるのではないかという懸念がある。

- 一方の立場だけで進めるべきではないことが多いと思うため。
- 一方通行の物事はうまくいかないから。多くのことは互いに協力しあってこと、発展成長していくと思います。ただ、(私も含めてですが)最近の人は忙しい。
- 何かあった時災害時生の市民の声が行政に届きやすそう。
- 何でも協力することは大切やから。
- 何となく。
- 課題の解決は市民だけでも行政だけでも難しいと思うからです。協働の方が早く課題解決につながると思うからです。
- 課題を解決していくことは大切だと思うから進めるべきだとは思いますが、自分が何かできると言われると自分のことで精一杯なので難しくも感じます。
- 解決することを人任せにしないために市民も参加した方がいいと思う。解決かたときに達成感を味わい、誇りにも思えるかな？
- 各々の事情を疎通と共有できるから。
- 各々の役割や地域のことについて知っている・分かっている人がいる方がお互いにいいと思うから。
- 活気ある和歌山にするために、市民と一緒にやり連携していけばいいと思う。
- 活動の範囲を広げスピードを高めることができる。また多様な意見や専門家を巻き込むことができる。
- 活動効果があると思う。但し自身は興味がない。自身の能力提供を無償で行うつもりがない。そのような経済的余裕がない。
- 活動体制、活動予算等市財政が余裕あれば実施すべきと考えます。
- 勧めていくことには大賛成ですが、そういった活動をされていることまったく知りませんでした。
- 関わっている市民がどんな人か分からないため、内容によっては不安がある。
- 気軽に参加できる仕組みがあれば、参加する人も増えると思う。
- 求めがあれば進める検討は必要かと思う。
- 協働あってこそ問題点が明らかとなり、成果も上がるであらう。
- 協働した方が、より良い取組が出来ると思うから。
- 協働のほうで各々では出せない効果もあると思う。
- 協働の考え方は、住民相互や、行政との絆作り、
- 協働の方が 問題を共有することにより、より早く解決に導けると思うから。
- 協働の名のもとに市民への負担が増えそう。
- 協働の理解が無い 市役所の上から目線かな。
- 協働は素晴らしい事だと思うので、進めていくことはいいことだと思う。ただ、自分は知らない人と何かをするということが苦手なので出来ない。
- 協力して助け合うシステムは必要
- 興味がない。
- 興味がなさすぎた。
- 興味はないがやりたい人たちが積極的にやれば良いだけ。
- 郷土愛を高めるため。
- 近隣でも、どんどん疎遠になる世の中が不安だから。

- 金にかえられないもの。
- 金銭的に行政だけではこれからは難しいと思う。
- 具体的な活動例がわからないので。
- 具体的にどう言う活動かが分かりません。良い活動なんだろうなと雰囲気を感じます。私個人がストレスを感じず楽しくやりがいのある活動であれば参加したいです。
- 健康に問題なければ高齢者に役立つ活動をしたい。
- 元気で人の為に成るなら、出来る事をしたい。
- 現在では、奉仕活動ではなく 益がなければ人様のことはほぼ無関心のようにみられます。それも責任を問われたりで 気持ちがあっても行動が後退りになるように思います。
- 現時点で、行政が動いていないから。協働にならない。
- 現実的な解決には、法のグレーゾーンでなければ解決できないこともあると思う。その場合、行政として支援が難しい場合もあると思う。そこで行政側が支援出来ないとの結論を出したとき、市民側としてはハシゴを外されたという気持ちになるだろうし、その人達から行政に対しての不信、不満が市民に口コミで広まる可能性がある。そうなると、多方面で市民のきょうりよくを得られなくなる可能性が高い。また、市職員の天下り先となる懸念もある。
- 現場や現地のニーズを把握するには、役所だけじゃなく市民の意見も必要だから。
- 個人では、始めること・できることに限界がある。また、逆に行政だけでも限界がある。それぞれの立場での役割を一緒に果たしていくことで公益発展につながり、住みやすさ・心地よさに繋がると思うから。
- 孤独・孤立が心身の健康等に及ぼす影響があると思われ、地域の人や場所が居場所づくりになればと望みます。
- 公務員が民間人と交わるのはびっくりするほど世間知らずの公務員のためにもとても良いこと。公務員自身はそれに自覚できていないので気づききっかけになるかもしれない。
- 行政がやるべき税金払ってるので。
- 行政だけだと限定的な考えややり方になりそう。
- 行政だけでなく市民が活動することで、行政の真意や目的を知ることができるのではないか。
- 行政だけでは[細やかさ]や[スピード]においてなかなか思った様な成果をあげることが難しいと考えます。
- 行政だけに頼るのでなく市民参画での問題解決することで、行政がもっと身近になるのではと思われます。
- 行政でやればいい。
- 行政と一部の団体では癒着関係となるのが往々にしてあるから。
- 行政と市民が真に協働できるのなら、積極的に進めることには大いに賛成だが、行政と市民との力関係が本当に対等であるのかによっては、市民の自発性が損なわれるのではないかと疑問がなくなるから、期待しつつも、積極的に進めるべきかどうかには確信が持てなかったから。
- 行政に興味を持たない人が多く身近に感じれるようにした方が良く思うため。
- 行政に対して一方的に不満を言うより、自分たちも参加して、課題に取り組んでみた方がいいと思う。
- 行政に任せきりにするのでは何をすべきかわからない為
- 行政のスリム化で、専門の課 と、本物の公僕 の精神がなくなってる。
- 行政のやり方で活動すると時間がかかる事が多いので、積極的に進めるとは言い難い。
- 行政の人員不足解消を狙って。但し意見の取捨選択が必要。

- 行政の責任回避(丸投げ)」や「コストカット目的の民間委託」になってしまう事が懸念されます。
- 行政の力だけでは限界があるから。
- 行政は市民目線の発想を取り入れ、市民はまちづくりに参加することで、理想のまちへ近づけることができるし、まちづくりへの関心が高まる。
- 行政まかせでなく市民も一緒に活動する事がより力になると思う。
- 行政業務が多くなっていると聞き、協働すべき。
- 行政側も市民も互いを知ることがまずは大事だと思います。でないと誰が何をすることが出来るのか、そもそもの動き方など理解しないことには始められないと思うんです。
- 行政担当者だけでは活動に限界があり、市民はお客様であっては行けないと思う為
- 行政任せでは人手不足、予算不足。
- 高齢のため、活動ができなくなりました。
- 高齢化が進み、若者が少なくなる現状に難しいと思う。
- 高齢化の今、日常の生活を孤立することなく、幸せに暮らして行くために必要かと。
- 高齢化社会では、動ける人は生涯協力して働かなくては人がいない、役割をしっかりと与えて、孤立させず人を使わないと間違い立ち行かない。
- 高齢化社会における市民と行政の協力による福祉活動は必要と考えている。
- 高齢社会において活動促進は健康や外に出る機会になると思う。
- 高齢者、市民の事を考えると、皆で達成感が必要だと思う。
- 高齢者が増えていくなかで、若者、高齢者、子供、行政が進めていく活動はいいと思います。
- 高齢者だけではなく、若い人たちにも積極的に広報希望します。
- 高齢者にも参加しやすいようにするべきである。
- 高齢者の生きがいになる。
- 今のままでは廃っていくばかりだから。
- 今現在も活動していて、続けていきたいと思っているため、しっかりとした支援の枠組みがあると良いから。
- 今現在進めているのなら、それを継続したらいいと思うが、何をしてるのかわからないから、ドチバカといえばを選択しました。
- 最終的にどんなふうになりたいから、協働を続けるという目標が見えず、地域の課題が何のかが分からず。興味がない人に関心を持って支援が欲しくてアンケートを出しているのか、ただ進めるほうがいいと言う意見から予算を決めるのか、意図が見えなかったです。また、このアンケートを機会に関心者を増やすなら、何をするために、どんなことが出来るなど、リンク先を貼り付けるだけでも有益になりそうです。
- 災害時にも役立ちそうだから。
- 災害時のスマートサプライなど、今進めておかないと、いざという時に役に立たない 誰でもできる小さなことをみんなに知ってもらって広がれば◎ 積極的に自分から参加する人は少ないと思うから。
- 災害時の力となる。
- 参加したくても時間がない若者が多い中、時間があるお年寄りの方ばかり参加すると意見が偏るため。
- 参加してみようと思うから。
- 参加することで問題意識が生まれると思うから。

- 参加できる人から進めるべきと思う。
- 参加意思のあるものは参加出来るように！
- 仕事して子供育てるのに精一杯、他に何かする余裕なし。
- 仕事をリタイアした人や、家庭の事情などで仕事をしていない人が自分のペースでボランティアなどなら参加でき、社会参加する機会を得られるから。
- 子供関連で人手が足りないのでボランティアが必要だと思うが、共働きが多いことと、子育て終了世帯と子育ての仕方や価値観が変わってきて任せづらいのではないかと考えられるから。
- 市が外注でアルバイトを依頼するよりかは、やりたい市民が活動するのはいいことと思う。
- 市が主導権を持つのか？いずれにしても賛否両論あるのではないかと問う。
- 市が本来すべきことを住民に負わせることと考える。市職員は働かなさすぎ(和歌山城整備局など)。
- 市政は公務員に任せるだけでは、限界がある。市会議員のレベルも低いと感じるので、今後このような取組を積極的に取り入れるべき。
- 市民がより良く暮らせると思います。
- 市民が活動しやすいように広報してくれたらさんかできるかも。
- 市民か行政かどちらかに立場や役割が偏っているのは何かしらの点で不満が出てくるため。
- 市民が参加することが今後必要とされるから。
- 市民が政治に参加した方が良い気がする。
- 市民が地域の課題を主体的に考える機会となるから。
- 市民だけ、行政だけじゃなくお互い協働して解決することで和歌山市をつくりあげていくことはとても良い事だと思います。
- 市民だけ、行政だけでは解決するのには何かと進展するには難しいことも多いだろうから協力していく必要があると思ったから。
- 市民だけでなく失礼な言い方ですが行政も真剣に取り組んでください。
- 市民だけでも、行政だけでもなく、一緒に進めていくことに意義がありますね。
- 市民と行政がそれぞれの立場や役割を生かすべきなのに、行政は市民に対して案を出さないから。
- 市民と行政と一緒に取組む協働の内容を具体的にわかっていないので、進めるかどうかについて、はっきりとした意見は持っておりません。
- 市民と行政が関わるのが少ないから。
- 市民と行政が協力することは重要であると理解する。
- 市民と行政が身近になると言う事はとてもいいことだと思うから。
- 市民と行政が連携するのはいいことだと思う。
- 市民と行政で共に取り組むことで、地域の課題を互いに理解しながら、解決することができるように思うため。
- 市民と行政のつながりはとても大事だと思う。
- 市民と行政の意見の食い違いが多そう。
- 市民と行政の橋渡しとでもいいでしょうか。行政の中だけでは、わからない見えない部分を知って貰いたい、現場もわからないで机上だけでは改善されない部分があると言う事です。
- 市民と行政の繋がりが必要だと思うから。
- 市民と行政の連絡、情報共有が進む。

- 市民には出来ないこと、行政では対応困難なことなどを互いにフォローできるので、デメリットもあるがメリットの方が大きいと考えます。
- 市民に協働をもっと広く周知して欲しいから。
- 市民のためになるなら良い。
- 市民の意見が反映される場であり、非常に有益であると思う。
- 市民の活力が増す。
- 市民の繋がり。
- 市民の考えと行政の考えがまとまる機会になるかもしれないから。
- 市民の声が届けやすくなると思うから。
- 市民の声を行政に届けるために必要だと思う。
- 市民の声を聞いてほしい。
- 市民の多様なニーズをすくい取るためには協働が不可欠と考えます。
- 市民の要望が伝わりやすい。
- 市民の力が重要だから。
- 市民への周知、浸透させるため。
- 市民への周知が足りない。
- 市民ボランティアが増えれば、より良い和歌山市になると思うので。
- 市民も積極的に自分の住んでいる地域を住みよく改善するのは大切だと思うから。
- 市民も地域のことを知るべきだと思うから。
- 市民も当事者意識を持って活動していくことで、地元愛が育まれる気がする。
- 市民活動に関心を持つのは良い事なので。
- 市民個人では志高くても、協力を得られないと活動が形になりにくい。市民同士だと仲が良い時は良いが、同じ方向を向かなくなった時に感情が優先される。役なので友だち同士ではなくても活動が継続、繋がるような司令窓口が必要だと考える。実体験から。そのため、行政(第3者的立場の方)は必要と思うため。誰がやろうとしても出来る仕組み。続ける、繋がって拡がる仕組み作り。に行政のノウハウ、お力添えを頂きたい。
- 市民参加型の取り組みを進めないと様々な課題に対応できない。
- 市民生活が良くなりそうな活動だから。
- 私にはよくわかりませんが誰かの役に立ってるのでしたら進めても良いと思います。
- 私のように何も知らない人がいっぱいいると思うから。
- 自分たちの街や生活は行政ばかりに任せるのではなく皆で取り組むことが大切。
- 自分たちの住む地域は、行政だけでは、十分にできないから。
- 自分の住む街をより良くするために汗をかくことは必要だから。
- 自分達の住む場所をより良くするには、行政単独、市民単独では限界があると思うから。
- 自分達の生活をより良くして行くためには地域住民と行政の連携は大切だと思います。

- 実際その立場にならないとわからないところも多いので、行政のみだとサポートが必要な部分がわからないこともあり、市民のみだと活動の広報や正当性が伝わらなかつたりするので、行政のサポートも必要だと思うから。
- 社会問題や地域の課題は行政と市民が協力することが重要だと思う。
- 若者もグループに入る工夫をして、若者の意見が採用され、若者が積極的に社会に関わる仕組みを作っていくべき。
- 住み良い和歌山にするため。
- 住んでいるものの現実的な意見も必要かと思う。
- 住民の公德心の啓蒙と、活動による生きがい心の向上
- 初めて聞く言葉なので、実態がわからないから。
- 所得を得ている行政スタッフと無償のボランティア精神で奉仕する市民との関係に疑問があった。
- 少しでも和歌山市が、今より良い市になっていけば良いと思います。みんなの力で。
- 少子高齢化が進み限られたリソース(税金等)で市政を運営していくには限界があるから。
- 少子高齢化などもあり、行政だけでは難しいことも多くなってくると考えている。様々な課題を行政任せにせず、市民の力と合わせて、みんなで持続可能な街を作るため。
- 色んな意見を取り入れるのはいい事だと思うので。
- 新しいごとの取り組みは積極的にするべき。
- 新大阪まで通勤しており、ほとんど家にいないため。
- 身近にあまりよくない事例を知っているから。
- 進めるべきかそうでないか、しか選択肢がなかったの。実際にはよくわからない。
- 人と交流できるいい機会だし、同じ和歌山市民と知り合いになれる。情報提供を広くして欲しいです、また若い人が参加できるボランティアもあってほしいです。
- 人のつながりを大事にするため。
- 人口減少で地域で相互扶助で活動していかないと 地域コミュニティーが もたない。
- 人口減少社会において、有益だと思う。
- 数年前他県から和歌山に来たものですが、和歌山の人とは和歌山の方が好きなのに和歌山の発展については諦めているように感じます。市民をもっと巻き込んでいけば色々と発展していくのではないかと感じます。
- 生の意見を聞く事はとても大事
- 税金の無駄だから。
- 責任の所在があいまいになるから。
- 全国的にコンパクトシティという小規模の都市計画を方針に進める傾向があり、市民に対して身近に官民協同のまちづくりという概念を広める地方創生を身近に捉える必要があると思います。
- 他にも知らない方がいるかもしれない。
- 多くの人に仕組みそのものを知ってもらうべき。
- 大切なことだと思いますが、金銭的に余裕のある人しかできないので、子どもがまだ、成人していない家庭は無理だと思う。
- 誰もが暮らしやすい地域を共につくる事は良いと思うから。

- 知識を増やすため。
- 地域が元気になる仕組みを考えていなくては、生活が良くなれないと考えるから。
- 地域で足りないこととか 改善されればよりよくなることなど、実際にその場所で暮らす人にしかわかやないから。
- 地域の為に皆んなが力を合わせる事は良い事だと思います。しかし、そこに補助金等が出るとなると違って来るように思われます。あくまで純粋に地域の為を思い考える活動であるべきです。本当に必要なものが生じれば市に対してその時嘆願し。後は議会で話し合うなり担当部署に任せるようにし、補助金ありきで進めるべきではないと思います。
- 地域の課題(問題)を官民で力を合わせて解決していくのが望ましいと考えます
- 地域の課題、がどういう方法で解決するのかは個々に違うので「公益云々」などと言う耳慣れない言葉で簡単に述べてほしくないし、解決しないと思う。
- 地域の課題が解決されるならよいのでは
- 地域の課題については地域に住まう人々の意見を反映するべきだと思う。
- 地域の課題はそこに住んでいる方の意見が必要だから
- 地域の課題は行政だけでは解決しないため
- 地域の課題は地域常民が最も把握している。行政だけでは行き届かなくて当然と考える。
- 地域の課題を解決するための「協働」ならば市民も行政も積極的に進めて当然だと思います。
- 地域の課題を解決するには、たくさんの方がかかわったほうが良いと思うから。
- 地域の課題を解決するのに市民だけではできないことも行政と一緒にすると解決することが増えると思うので。
- 地域の課題解決のためには行政、市民の声、双方が必要であると思ったので。
- 地域の人も参加する機会があったほうが自分事として認識できると思うから。自分たちの地域のことは行政に丸投げするだけでなく自分達もある程度責任を持たないといけないと思うから。
- 地域課題にあった施策の実現および行政サービスの向上
- 地域課題の解決には市民の参加が必要だと思うから。
- 地域活性化のため。
- 地域間でのコミュニケーションも薄くなりつつある現状なので行政からの介入も必要になりつつある。
- 地元に対する帰属意識が高まるとされるため。
- 直接行政に話を出来て進められる機会は良いと思います。
- 当然の活動の根源だと思うから。
- 働くのは難しいが 出来る時に出来ることがあれば何かしたい、情報が全くないので知りたい。
- 特に理由はないが、進めるを止めるほど関わっていないから。進めてもらえば、接点が生まれるかもしれないと期待。
- 内容がよく分からないので答えにくい、進めていくことはよいと思う。
- 内容には依るが、本来市の職員が職務として行うことだと思う。そのための給与が支払われている。市民はボランティアとしての意味合いが多く、行政の怠慢とも取ることができるのでは。
- 内容も全く分かりませんので、答え様がありません。
- 内容自体を詳しく知りたい。

- 日頃から繋がりができれば有事の際にお互い協力できて良いと考えます。
- 認知度を広げてほしい。
- 必要だと思うから。
- 必要なことと思うが、現在自分は子育てと家事で、時間と費用の余裕がなく、できる状況にないため。
- 必要不可欠と思っている。
- 分からないを選べなかったの。
- 民官が協力すればよりよい街作りが出来るから。
- 民間の善意にただ乗りするのはいかなものか、なんらかの労働をし成果を上げたのなら相応の対価を支払うべきだしもらうべき。
- 面倒だから。
- 問題を解決するには力を合わせないといけないと思います。
- 役所のマンパワーだけでなく、少しでも早く良くなっていくのであれば、市民参加型で良くしていく活動が大切だと思うため。
- 立場が違えば意見も違うだろうから、市民と行政がお互い色々と言い合いながら活動するのは良いと思う。
- 立場の違う者がかかわることで、互いをより理解できるように思います。
- 立場の違う者との意見交換は有意義であり、より効果的なパフォーマンスが可能となるため。
- 良いことだと思うから。
- 良いふうに進むのであれば。
- 良く分かりません。分かり安く説明して欲しい。
- 和歌山がより良くなるためなら何でもするほうがよい。
- 和歌山が良い方向になればよいなと思ったから。
- 和歌山を盛り上げたいと思っている市民は多いと思うし、役に立ちたいと思っている人も多いと思うから。
- 和歌山市に住んでいるなら、課題解決にも取り組む必要があると思うから。
- 和歌山市のことをよく知れる。わが町の助けになっていることの喜びがある。
- 和歌山市の発展に役立つのなら。
- 和歌山市の未来のために、無理をしない程度にできることは協力するべきだと思うから。
- 和歌山市をよくしたいと思うから。
- 和歌山市民として、積極的に参加することは良いことだと思う。

この度は、市民公益活動についてのアンケートにご協力いただきありがとうございました。
皆様からいただいた貴重なご意見やご回答を、今後の市民公益活動のさらなる活性化や、協働による地域課題の解決に向けた取組に活用してまいります。
今後ともご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。